

個人質問



川原 春夫 議員

●森林の適正管理について

Q 森林再生に向けての人材育成計画はどのようになっていきますか。

A 経済環境部長 人材育成の観点から、労働力の確保として、NPO、建設業等が参入できる仕組みづくりは非常に重要な行政の責務と考えています。

●子育て世代支援対策について

Q 待機園児解消対策として、送迎も含めた対策はいかがでしょうか。

A 保健福祉部長 「おむらこども園」と「なるとうこども園」の整備計画、施設の有効活用や地域に合った保育事業の検討、さらに、次世代育成支援対策地域行動計画の後期においては、保育ママ、ファミリー・サ

ポート・センターについて検討対象としています。

Q 3種類のワクチン（子宮頸がん予防ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン）の接種について

Q 子宮頸がん予防ワクチン対象者ですが、1つの事例として、4月1日に高校2年生になる女子生徒、年齢は8月に17歳となる場合は対象になりますか。

A 保健福祉部長 平成23年度に16歳になる方が対象です。周知に努めたいと思います。

Q 命を守る山武市として、たとえ国がやらなくても、山武市は継続するというメッセージを発信してほしいと強く願いますがいかがでしょうか。

A 市長 命にかかわる大切な事業を、国の予算がつかないからやめるといふわけにはいかないと理解しています。

●高齢者世帯の日常生活に対するセーフティネ

ットについて

Q 光ファイバーに対する取り組みが、本市においても進められていくと理解しております。そこで、光ファイバーを活用して、その独居高齢者の皆さんの所在を感じ取る人感センサー事業の導入についてはどのような考えをおられますか。

A 保健福祉部長 光ファイバーのシステムについては、その活用について、これから勉強していきたい。個人のプライバシーの点に配慮し、有効性について情報を共有したい。

●山武地域における高齢者の移動手段の確保対策について

Q 山武地域においては、いつから乗り合いタクシーの試行運転が開始されますか。

A 総務部長 10月ごろを目標としています。

Q 現在、運行している巡回バスは、その時点でどうなりますか。

A 総務部長 その時点で、一人は運休と

いう形にさせていただきたいと思っています。

Q この巡回バスについて、利用率の高いルート、時間帯のみを残すという選択肢はないのでしょうか。

A 総務部長 現在は、実証実験運行の期間中ですが、山武市全域、同じ条件の中で、基幹バスと乗り合いタクシーの組み合わせでやっていきたいと思えます。

Q 基幹バスの停留所まで、片道三、四十分歩かなくてはならないので利用できないといった声も聞かれます。何か対策を考えておられますか。

A 総務部長 利用率を高めることについては、早目に変更していただくという考え方の中で取り組んでいます。そういったことでは、今、停留所の見直し等もしているわけですが、一たん、停留所を設置しますと、その停留所をやめるといふのも、なかなか難しいということもあり

ますので、実証実験運行期間中については、あくまでも試験的に増設しています。やれる取り組みはしていこうということだと思います。

●平成23年度当初予算について

Q 平成23年度当初予算案の特徴は何でしょうか。

A 市長 人口減少、特に生産人口が減少し、その結果、市税が年々減少していくという中で、市民の生活を守っていくために基本計画にのっとり、予算、枠予算といったものを基本に考えています。幾つかの特徴づけとして、こども園の建設、行政集中の中で本庁の建設等、健全財政を堅持しながら編成した予算内容となっております。

Q 3階建ての新庁舎建設計画について説明いただきたいと思えます。

A 市長 松尾庁舎の耐震診断により、できるだけ早く取り壊さなければいけない。したがって、

まして、松尾地域の出張所のあり方をどのようにするかという問題があります。これをどこかに仮に移転をしていくということではなく、現在のIT保健福祉センターに移させていただければ、それが地域にとつて一番いいだろうという考えですが、その場合に行政集中という観点から保健福祉部を本庁に移転して、行政の集中を図っていく時期と考えています。

個人質問



市川 陽子 議員

●行政改革について

Q 合併時から利用頻度の少ない施設についてお伺いします。

A 市長 蓮沼の幼稚園は休園、山武出張所は、取り壊しを待つ段階です。一部使用されていない施設は、蓮沼出張所の2階部分、松尾出張所